9月定例町議会

一般行政に対する質問から（要旨）

九月安例町議会の一般行政に対する質問は二十四日に行われ、人事、農業、教育、町の診療問題等に五名の議員が質問に立ち、それぞれ町長の施政を正した。

議案差し替えの真相は何か

質問　去る、九月九日招集された第三回臨時会に当り、已に告示され、議長からも案内状が出され、議案が急きよ差替になり、然も理事者からは一言も釈明がなされなかったが、その真相を説明願いたい。

答弁　その臨時会で釈明すべきところ、ついその機会を失し申し訳なく深く反省している。ご承知のとおり、助役の後任人事案件であり かねて議長から、決定したら、二、三日前までに聞かせてほしい旨申出があり、私も提案に際してはそのつもりでいた。ついては去る九月三日人選も終え、翌四日議長に連絡し、議会の同意方についてお願い申し上げた。議長もこれはまとまる見込みがあるからということで、臨時会に寺地保育所の予算案と同時に一括提案することで事務を進めてきたが、たまたま九月六日別件の用務で保守系議員が参会する機会があって、人事案件を諮ったが、ことが急々で時間的余裕がないため見送ってほしい旨の申し入れがあった為、議長と打合せ、やむを得ない措置として見送る事にしたものです。私の議案差し替えの釈明がおくれたことを深くおわび申し上げ、ご了解くださるようお願いしたい。

また、去る、九月六日の会合で町長は議長に何ら一言もなく、いきなり提案するとは議会軽視だという声があったようだが、それは誤解で、私は常に議会を尊重し、議長ともたえず連絡をとり行政の執行にあたっているもので、今後も同様の姿勢でやっていく所存である。前述のとおり、すべて議長と打合せて取った措置であるので誤解のないよう特にお願い申し上げます。

質問　あなたは旧態依然として現体制を推持する保守的な考えをおもちの方で、なぜ上程できなかったかその理由を聞きたい。

答弁　保守系の議員の大多数がそういう考えであれば、やむを得ない措置と考える。

質問　議会内外を通じて円満に事を運びたいという考えには私も大賛成であるが、しかし、このようなことでは今後、住民から賛成されないのではないか。それから議長と相談をして行ったといわれるが、本町の議会の大多数は保守系であり、その議会を代表する議長と打合せしたがうまくいかなかったでは納得がいかない。前助役は、前町長とはメイコンビで種々、手腕を発揮されており、もう一期やってもらったらどうだったか。

答弁　柄沢氏は七月末に病気のため入院し退院は八月三十一日で任期満了であり八月三十一日で任期で退任する旨の電話通告を受けたものである。前述のとおり私としても提案しようとした人事は最高と思っていた。

県立保母養成学校を なぜ誘致できなかったか

質問　県立保母養成学校が現在（新潟市）の敷地が狭い為、市外転出を計画し最初、本町に話があり最終的に亀田町に決定したと紙上で報道しているが、理事者はこれを知っていたか、知っていたならその経過を説明願いたい。

答弁　県へ寺地保育所建設の認可申請に行った際、口頭で坪三万円位の適地を探してほしい旨話があった為、寺地方面を物色してみたが坪三万円では買収は不可能で、木場方面を探している間に、亀田町に適地があったということで断わりの電話がきた。その亀田の話というのは県立高校誘致の為に買収した土地一万五千坪のうち三千坪を保母養成学校にあてるということでした。私としても是が非でも誘致し町の発展を考えたところであったが残念でならない。

質問　最初県からそのような話があったら、何故もっと積極的な姿勢を示さなかったのか。

答弁　私としては積極的にやったつもりである。

質問　常に本町は、高校誘致にしろ亀田町と対立し、熱意の差が現実として現われているようだが何か本町は迫力が足りないように感じられる。自分の手の回らない時は議会や部下を効率的に動員して今後の諸問題に対処してほしい。

農業振興整備法適用の 除外地の取り扱いは

質問　農業振興整備法の適用から除外された農地は近い将来、線引変更はあるか、また現在、農地転用にあたり利便があるか。

答弁　農業振興整備法による、農地用であっても、その地域の社会経済の情勢が著しく変動した場合県知事、農林大臣の許可により線引きの変更はできる。しかし、現段階では概ね十年を目途にしている。転用に当る利便は、前述と同じく、市外化調整区域、市街化区域といえども、社会経済の変動により区域の変更も当然あり得る。

学童保育の必要性は 急務と思われるが

質問　共働き等により家を留守にする家庭が増加し学童保育の必要性は急務と思われるが、本町の実情、各地動向、国の方針、町の実施計画などをおたずねしたい。

答弁　現段階では、国、県よりそのような文書も入っていないのでなんとも返答しがたい。

質問　国で決めたことが町に話しがないのはおかしい。よく調べておいてほしい。

質問　本町の学童保育の必要性は各学校の低学年を調べてみたら（児童が学校から帰り家に誰もいない家庭）農村地域の木場、坂井、黒鳥はいない、大野小は一年生三六人、二年生四人、三年生五人、立仏小では一年七人、二年一八人三年一〇人、とこれらをみても、低学年児童の保育がどうしても必要かと思われるが、国から援助がある、ないにかかわらず理事者はこれをどのように考えるか。

答弁　本町の一年から三年の、いわゆる学校から帰って自分で家のカギをあけて中に入る児童（カギっ子）は一六二人、児童の一七％大野小では二三、七％、立仏小では一九、四％と住宅増加地域が圧倒的に多く、現時点の対策として、三〇人に一人の指導者が保育にあたる等は難しい問題であり、この問題について各学校で研究を願っているが、今の段階としては学校施設を四時半まで開放し自主的な活動に頼っているのが現状である国からの助成があった場合のことですが、この件について何ら文部省より通知もないが、このような状況が増加している今日、今後の研究課題として充分検討してゆきたい。

質問　文部省から通知がないといわれたが、労働省では既にこれに取り組んでおり施設も見附市に勤労青少年センターが設置され学童保育を行っているようだ。新潟市でも九年前から、四ケ所で保育事業を実施しており、人件費や光熱水費などの助成をし、場所は二ケ所が学校、あとの二ケ所はプレハブ施設で実施している。本町でも一度にカギッ子児童の保育の実施は大変と思うが交通量の多い大野地域から早急に実施されるようお願いしたい。

次ページへ

レントゲン間接撮影の 結果のお知らせ

9月10・11日と10月4・7・8日に実施しました間接撮影の結果については、精密検診が必要な方に個人通知をします。異常のない方に連絡をしませんのでご了承下さい。

前ページより

質問　生活保護世帯への住宅扶助は各自治体である程度操作できないものか。

答弁　社会福祉事務所また県へ問い合せてみたが、操作はできない。

質問　国や県は七五〇〇円の住宅を捜せということになるが、そんな住宅は町内にあるか、一般財源から助成できないものか。また、この様な制度を作る気はないか。

答弁　よく研究し、できるだけ希望に沿うようにしたい。住宅の建設は財政的に無理なので、ご了承願いたい。

善久部落公民館の 早期改築を

質問　善久部落は町内で最も人口が急増しており今の公民館は老朽化し、また、手狭で多くの人達の集会は困難である。従って一日も早く増改築をしてほしいが、そのメドはどんなものか。

答弁　財政事情がゆるせば五十年度に建設したいが三三〇㎡以上にしないと国庫補助の対象とならないが、すでに県に対し、建設したい旨お願いはしてあり、現在まで県下で十六件の新改築申請が提出されておるそうで、本町がこの補助対象に認められれば、五十年度にやりたい。

農村総合モデル事業の 指定を受ける意志は

質問　農村総合整備モデル事業について農林省では目玉商品として全国四〇〇ケ所、一地域八億円を投入して、生産基盤整備、集落の改善整備など、この計画が紙上で大きく発表されていたが昨年度は北魚沼郡と味方村が指定を受け、本年は白根市外三〇ケ市町村が指定を受けるべく申請をしているそうで、本町もこの高度の補助事業の指定を受け、農業基盤の整備を計られる意志があったら、その方法と時期を伺いたい。

答弁　結論から申し上げると、もう少し時間の余裕がほしい。ということはこの事業そのものには賛成できるが農家が意欲的な考えをもっているか否か、また関係機関団体と綿密な話し合いを持つことが必要なこと。都市近郊農村は指定されるのがむずかしいと言われているが、しかし、本町としてはあくまでも農家の考え方を尊重しいろいろな方面からの意向を検討し、本町も乗り遅れることのないよう作業を進めていきたい。この事業は四十八年から五ケ年ということであるので検討期間を充分いただいてこの問題に対処していきたい。

木場小・大野保育所 木場保育所改築の構想は？

質問　木場小学校は大正七年に建築され、五十六年経過し老朽化が激しく、危険校舎にも指定され、すでに改築の請願も採択になり設計も依頼されているようだが、この改築の構造と規模はどの程度か。

答弁　昭和五十年度を目途に改築したいが構想としては鉄筋二階建とし危険面積が五五〇㎡であるので七〇〇㎡前後を考えている。五十二年度には学級数も六学級に減少することなども考慮に入れ今日（九月二十四日）設計者と打合せを行う予定だが、総需要抑制政策等もふまえて対処していかなければならないと考える。

質問　住民の願いが達成する、良い建物にしてほしい。またこの程寺地保育所は冷暖房完備のすばらしい施設を整えられるが次に控えている大野保育所の改築にはどのような構想をもっているか。

答弁　来年度事業としてやりたい。

質問　財政多端の折から、五十年度に建設される場合、規模はどの程度か。

答弁　これの改築に際し現在の施設を取り壊すことから、建設期間中の保育をどのようにするか等も含めて現在検討中である。

質問　木場保育所の改築はいつ頃か、移転、用地の確保はどのような状況か。

答弁　木場保育所改築のこれといった詳細な計画はないが、昭和五十二年度以降の事業としてやりたい。

質問　木場、坂井を併合した用地の確保の考えは

答弁　その線で研究を進めていきたい。

質問　りっぱな施設を作ってほしく、木場保育所は一二〇名の定員に対し三七名が寺地の児童であり寺地保育所完成により欠員を生じた場合の運営はどうするのか

答弁　一二〇名の定員を変更する意志はない。

郵便物が遅配して困る

質問　郵便物の遅配がここ数年来ひどくなり会議等の通知が開催日を過ぎてから配達されてくることが時々あり、また町内の郵便が一週間もかかったこともある。この様な状態を町長はどのように考えるか。

答弁　遅配について時々耳にするが局に問い止した所、配達員の不足が主な要因となっており、本町に限らず都市近郊は住宅の増加などにより特に遅配しているそうです。そこで局でも、本年は八名に一名増員、来月（十月）はさらに二名増員し、遅配のないよう取り組んでいる。これらの人事権は長野郵政局にある為、郵政局に対し人員増加が計られるよう町長名で陳情したいと考えている。

質問　日曜、祭日に医師が診療できないのはなぜか、医師も日、祭日は休みたいのはわかるが、ある日、食中毒を起し、医者に行ったが診察してもらえなかった、不在の場合は無理としても、在宅であったら診察してくれても良いと思うが、このような事態を町長はどのように考えているのか、また、医師会と話し合いをしたことがあるのか。今後の対策を聞きたい。

答弁　本町の診療体制は、全医院が休診しているわけでなく、日曜日診療している医院、伊田医院（一日）松井医院（午前、自宅診療）を行っている。今後日曜に診療を要する場合、これらを利用願いたい。また、九月二十六日（過日）医師会との打合せ会があるのでその時よく話し合いをしたい。

火災発生のおわび 黒埼中学体育館

去る、十月一日、火災発生により、黒中体育館を焼失したことはまことに遺憾であり、再度このような、不祥事が発生しないよう万全を期する所存であります。原因については、目下警察当局において捜査中であります。

なお、災害復旧につきましては急拠町議会並びに教育委員会の開催をお願いし、ご審議を賜り、またPTAの方々から災害の後始末の労働奉仕を賜りまして心より感謝しております。早期復旧を図るべく、学校側とも連絡をとり、全力を傾注しているところであります。今次災害について町民各位に多大のご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

黒埼町長　森　清太郎
教育長　松井　信一

『知恵の輪』

ご存知ですか！みなさんが日常使っている語の中で、日本語と思っていた語が外来語というものが以外とたくさんあります。また、中には日本人が英語などを組み合せ、また、もじったりして日本語化したものもあります。

（ポ）はポルトガル語、（中）中国語、ペ（ペルシャ語）フ（フランス語）サ（サンスクリット語）オ（オランダ語）ド（ドイツ語）ロ（ロシア語）日（日本語）英（英語）です。

パン（ポ）ラシヤ（ポ）ビー玉（ポ）ロートル（中）ユズ（中）ユタンポ（中）マントウ（中）ペテン（中）サジ（中）キヤタツ（中）ナイター（日）アチヤラ（ペ）アベック（フ）アマ（中）アミダ（サ）アルバイト（ド）アンケート（フ）イクラ（ロ）ウドン（中）エキサイト（英）エレキ（オ）エンマ（サ）オールバック（日）オミット（英）オルゴール（オ）カステーラ（ポ）カッパ（ポ）カフエー（フ）カボチヤ（ポ）ガラス（英）カンパ（ロ）キビシヨ（中）キヤバレー（フ）クレパス（日）クレヨン（フ）ケーブルカー（日）

つづく

年金に関する 移動相談所を開設

とき　十月二十四日～二十五日
午前十時～三時まで
場所　黒埼町役場

年金について色々の疑問をお持ちの方は是非おいで下さい。当日は県の専門家が来て親切に相談にのってくれる予定です。みなさんのおいでをお待ち致します。